

乳汁検査室からのお知らせ

ウベリス連鎖球菌 (*Streptococcus uberis*) 及び エンテロコッカス種 (*Enterococcus species*) の 菌種の特定を開始！！

当社の乳汁検査では、これまでウベリス連鎖球菌とエンテロコッカス種はどちらも環境性連鎖球菌(OS) にまとめて表記していましたが、OS に分類される細菌の中でも種類によっては治療法や治癒率に違いがあるため、このたび菌種の特定を始めることにしました。

ウベリス連鎖球菌 (*Streptococcus uberis*)

環境中に広く分布する菌で、農場で発生する乳房炎の一般的な原因菌の一つとされています。文献（農場）にもよりますが環境性連鎖球菌の中では最も発生頻度が高いようです。乾乳期から分娩前後および泌乳初期での感染が多く、乳房炎の多くの再発症例の原因となっています。

治療法：毎搾乳ごとの乳房炎軟膏注入と抗生物質の全身投与の併用を 6～8 日間続けることで高い治癒率(80%以上)が得られるとされています。

例：毎搾乳ごとのニューサルマイ S 注入 + 1日1回のペニシリン 20 ml 筋肉内注射

（注意：抗生物質の選択は細菌の薬剤感受性に従います！）

乳汁検査の結果、ウベリスとの報告があれば短期間（3日間）の軟膏注入ではなく、辛抱強く1週間ほど治療し、可能な限り抗生物質の全身投与も併用してみましよう！！

エンテロコッカス種 (*Enterococcus species*)

腸球菌と呼ばれるヒトを含む哺乳類の腸管内に常在する菌種で、環境中では糞尿で汚染された場所に主に分布しています。エンテロコッカスは発症率こそ高くはないのですが、薬剤耐性（抗生物質が効かない）を獲得している菌種が多く、治癒率が非常に悪いとされています。

乳汁検査の結果、エンテロコッカスとの報告があった場合、治療法に関しては当社にご相談ください。

➤ 当社でこれまで特定していた主な細菌類

伝染性乳房炎

黄色ブドウ球菌(SA)、コリネバクテリウムなど

環境性乳房炎

環境性連鎖球菌(OS)、大腸菌群、コアグララーゼ陰性ブドウ球菌(CNS)、アルカノバクテリウムなど

➤ 今後の環境性連鎖球菌(OS)の表記法

| | | |
|--|--------|--------------|
| ウベリス (<i>Streptococcus uberis</i>) | —————→ | ウベリス |
| エンテロコッカス (<i>Enterococcus species</i>) | —————→ | エンテロコッカス |
| その他の OS | —————→ | OS (環境性連鎖球菌) |